

特別賞 実行委員長賞

題名 億万長者の夢

朴慶炯（パクギョンドン）韓国 エリート日本語学校

わたしは将来、必ず億万長者になりたいです。億万長者になって、やりたいことがあるからです。

わたしの父はわたしが10歳の時、病気で亡くなりました。母は一人で働いて、わたしと弟を育ててくれました。高校を卒業したあと、母が楽になるように、大学に行きながら、2つの仕事を持って一日に10時間働きました。わたしは頭はあまりよくないですが、体は強いです。わたしだけではなく、韓国ではみんなお金のために、一生懸命働きます。お金が一番大切だと思っている人が多いんです。2年間そういう生活をして、わたしは少し疲れしました。体ではなく、心が疲れたのです。

その時、日本で大きい地震がありました。日本に留学していた韓国人はたくさん帰ってきました。これから日本へ行きたい韓国人もあまりいませんでした。でも、私はチャンスだと思いました。日本へ行きたい人が少なければ、わたしでも行けるかもしれないと思ったからです。わたしは新聞奨学生として、日本に留学してきました。朝2時に起きて、朝刊を配るとき、早朝なんです。犬を連れてのんびり散歩をしている人をよく見かけます。とても幸せそうです。また、夕刊を配る時、自転車に子供を乗せて楽しそうに子供と話しながら、買い物に行くお母さんたちもよく見かけます。自転車の前と後ろの両方に子供を乗せているお母さんもいます。3人目がおなかにいるお母さんもいます。韓国ではあまり見たことがありませんでしたから、わたしにはとても新鮮な光景でした。なぜかその光景を見ると、わたしもとても幸せな気持ちになりました。日本人は忙しい生活をしながらも、家族や友達を大切にしているように感じました。お金より人の心を大切にしている国だと感じました。これはたぶん、日本の社会がいろいろな点で豊かだからです。社会が豊かになる方法は何だろうと一生懸命考えました。それは教育です。

韓国を日本のように、心を大切にできる豊かな社会にするために、わたしは学校を作ろうと決めました。お年寄りとお若者が一緒に勉強できる学校です。韓国の若者は今、人生の目標を決める時にとっても悩んでいます。自分が何をしたら幸せになれるか、見つけることができません。親もアドバイスをくれますが、親もそれぞれ1つの人生の経験しかありません。そんな時に多くのお年寄りの人生経験を聞くことができれば、若者にとっても役に立つと思います。また、お年寄りも若者と交流ができて、寂しくないと思います。わたしは億万長者なので、学費はもちろん無料です。そして、お年寄りは病気になりやすいので、病院も作ります。わたしは億万長者なので、治療代はもちろん無料です。わたしの学校では、心を大切にできるいい人間をたくさん育てます。いい人間は、いい結婚をして、いい子供を育てられます。そうすれば、必ずいい社会になるはずです。わたしはこういう学校を韓国はもちろん、世界中の国に作りたくたいです。世界中の国が心を大切に人です。世界でいっぱいになることが億万長者になったあとの私の夢です。

わたしはいつも、自分の夢をかいたおもしろい靴下をはいています。目がお金のマークになっているこの人は、韓国で有名なアカスリをしています。実は、韓国語でアカスリと大金は発音がとても似ているので、アカスリをしながらお金持ちになるということを例えています。気持ちや体が疲れた時にこの靴下を見て、またがんばろうと自分で自分を励ましています。

みなさん、応援よろしく申し上げます。